北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

印刷用ページ

科目名					
特別講義（1単位）					
講義題目					
キャリアデザイン－自分の未来を自分で考えよう－ I					
責任教員（所属）					
亀野　淳(高等教育推進機構)					
担当教員（所属）					
亀野　淳(高等教育推進機構) 三上　直之(高等教育推進機構)					
科目種別	全学教育科目(総合科目)			他学部履修等の可否	
開講年度	2017	期間	１学期（春ターム）	時間割番号	000413
授業形態	講義	単位数	1	対象年次	1～
対象学科・クラス	基礎1-53組			補足事項	
ナンバリングコード	GEN_LIB 1130				
大分類コード	大分類名称				
GEN_LIB	全学教育（教養科目）				
レベルコード	レベル				
1	全学教育科目（語学上級科目、高年次対象科目を除く）				
中分類コード	中分類名称				
1	総合科目				

小分類コード	小分類名称
3	特別講義
言語コード	言語
0	日本語で行う授業

キーワード

キャリア、職業、学習意欲、大学生活

授業の目標

今後の自らのキャリアを考えることができるようになるために、キャリア形成についての講義、外部講師の講義などを通じて、大学で「学ぶこと」と社会で「働くこと」の意義や関連性を理解する。

到達目標

１．大学で「学ぶこと」や社会で「働くこと」の意義やその関連性を自ら考えることができる。
２．学外講師の講義に対して積極的に質問することができる。
３．自らのキャリアを具体的にデザインし、これをレポートにわかりやすくまとめることができる。

※2015年度受講生の受講後のアンケート調査結果
Ｑ１：将来のキャリアを考える上で役立ったか？
「役立った」100%、「どちらともいえない」0%、「役立たなかった」0%
Ｑ２：大学における学習意欲が高まったか？
「高まった」82%、「どちらともいえない」16%、「低くなった」2%
Ｑ３：後輩にも受講してほしいか？
「そう思う」92%、「どちらともいえない」8%、「思わない」0%

授業計画

おおよその予定は以下のとおりである（ただし、学外講師の都合により変更の可能性あり）。
１．ガイダンス（本講義の内容などの説明）
２．「キャリアとは何か」（担当教員講義）
３．「社会が求める人材とは」（キャリアセンター長講義）
４．自己分析の実施
５．「７つの習慣」（スティーブン・Ｒ・コヴィー）の説明

６．「７つの習慣」（スティーブン・R・コヴィー）の実践
７．社会の第一線で活躍している学外講師による講義
８．最終まとめ
※就職活動のためのハウツーではない

準備学習(予習・復習)等の内容と分量

予習：講義内容や外部講師について事前に各自調べる。
復習：キャリアメモの作成など

成績評価の基準と方法

おおむね以下により評価を行う。
1.授業への積極的参画(40%)
2.レポート(60%)

（参考）2016年度の成績評価結果
A+(5%）、A(10%)、A-(23%)、B+(25%)、B(25%)、B-(10%)、C+(0%)、C(0%)、D(0%)、D-(0%)

テキスト・教科書

なし

講義指定図書

大学にいくということ、働くということ / 樋口美雄：岩波書店, 1999, ISBN:4000262203
大学生のためのキャリア開発入門 / 渡辺峻：中央経済社, 2005, ISBN:4502380407
キャリアのみかた：図で見る110のポイント / 阿部正浩, 松繁寿和：有斐閣, 2014, ISBN:9784641164383
完訳7つの習慣：人格主義の回復 / スティーブン・R・コヴィー：キングベアー出版, 2014, ISBN:9784863940307
キャリア教育概説 / 日本キャリア教育学会：東洋館出版社, 2008, ISBN:9784491023830
〈働く〉は、これから－成熟社会の労働を考える－ / 猪木武徳：岩波書店, 2014, ISBN:9784000244756

参照ホームページ

研究室のホームページ

備考

授業内容は学部１年生を想定しているが、２年生以上でも受講可。
自己分析のための費用として受講者は500円程度が必要となる場合もある（人数によっては無料の場合もあり）。
過去の受講生のアンケート調査にもあるように非常に評判の高い授業科目です。
今年度からは春タームと夏タームとに分けて開講するが、可能な限り両方を受講することが望ましい。
１年生同士で将来のキャリアについてみんなで考えてみましょう。

更新日時

2017/01/30 14:49:53